

中世武家領主の

世界

現地と 文献・ モノから 探る



なぜ武士は
地域社会の中核となれたのか——？

鎌倉末〜南北朝期にかけて、東国に端を発した武士団は、その本拠地を東西にひろげ、各所において地域社会との密接な関係を築き上げていく。武士集団が地域における社会編成の中核を担い、交通・流通の要衝を押さえながら、政治経済のイニシアティブを取ること稀ではなかった。中世日本の重要なアクターたる武士団は、どのような実態をもって地域社会へ受け入れられていったのか、その支配体制はどのように実現・展開されたのか。現在の島根県益田市域の北部にあたる石見国高津川・益田川下流域を中心に、文献史料、出土遺物をそとしてフィールドワークによる分析という、多様な研究手法を駆使し、中世日本の特質を明らかにする画期的な一冊。

目次

第一部◎武家領主の地域支配の諸相

序言・田中大喜
材木の生産・流通と武家領主・西田友広
西遷御家人内田氏の本拠景観と高津川流域
——現地調査の聞き書きと文献史料から渡邊浩貴
中世後期石見国長野荘をめぐる諸武家領主の動向・中司健一
東国地頭支配の受容と排除——肥後国人吉荘と肥前国彼杵荘 清水亮
中世武士団における一族・被官の西遷
——肥前千葉氏を事例として 湯浅治久
紀伊国における武家領主の地域支配と荘園領主 高木徳郎

第二部◎地域の港湾と武家領主

石見国高津川・益田川河口域の集散地と武家領主 田中大喜
河口の港が果たした役割——瀬戸内海と日本海を比較して 鈴木康之
そこに港は存在したのか？——伝承からたどる中世の益田 松田睦彦
遠江国笠原荘の「浦」にみる中世の港湾と海村 貴田潔

第三部◎モノからみる武家領主

陶磁器からみた中世益田 村木二郎
朝鮮初期における陶磁器の生産と貢納・流通 荒木和憲
遺物からみた武家領主の本拠
——静岡県の主要遺跡の遺物分析から 池谷初恵
中世後期の領主の好み——出土品と財産目録から 水澤幸一
あとがき 田中大喜／執筆者一覧

田中大喜

(たなか ひろき) 一九七二年生まれ。国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学准教授(兼任)。専門は日本中世史(中世武士団・在地領主研究)。「古文書の様式と国際比較」(共編著、勉誠出版、二〇二〇年)、「増補改訂新版 日本中世史入門——論文を書こう」(共編著、勉誠出版、二〇二二年)などがある。

定価 四、二八〇円(税込)

(本体三、八〇〇円)

A5判並製カバー装・三六八頁

二〇二二年八月刊行

ISBN978-4-585-32003-6 C1021

書名

注文書

中世武家領主の世界
現地と文献・モノから探る
田中大喜 [編]

定価 4,180円・本体3,800円

A5判並製カバー装・368頁
2021年8月刊行
ISBN978-4-585-32003-6 C1021

部数

書店印

ご担当者様

増補改訂新版 日本中世史入門——論文を書こう

秋山哲雄・田中大喜・野口華世 [編]

本体4,180円(税込)・本体3,800円

A5判並製・608頁・2021年2月刊行
ISBN978-4-585-22280-4 C0021

勉誠出版

※万一のご返本の際は、青木了解で受付いたします。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025